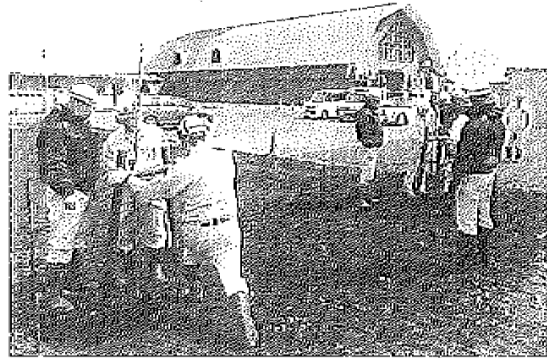


平田建設が植樹ボランティア
 新道の駅「しほろ」に彩り
 地域への感謝の気持ち込め



14本の苗木を丁寧に植えた

本にのぼる。

当日は、同社役員ら約四十人が参加し、数人のグループに分かれて作業を実施。スコップで大きな穴を掘ったあと、苗木を二本ずつ丁寧に植えつけ、木を固定させるための補強作業も入念に行った。

今野敦常務執行役員は

「二十三日のグラウンドオープンを前に景観の向上を図ろうと、今回は道の駅で作業を行った。今後、多くの方にきれいに咲く桜を見てもらえれば」と話していた。

地域への恩返しを込めながら、十四本の苗木を丁寧に植えた。

この取組は、町内に十三区ある行政区すべてに桜を植樹しようと毎年実施しているもの。これまでに佐倉地区や中十幌地区などで作業を展開しており、八回目の今回の分を含めると、植えた桜の数は百三十一

【帯広発】(株)平田建設(土幌、野中栄忠社長)は十九日、社会貢献活動の一環として、二十三日にグラウンドオープンを迎える道の駅「ピア21しほろ」でエソヤマサクラを植樹した。同社役員ら約四十人が参加。